



学校法人 松樹学園

信州リハビリテーション専門学校

信リハ通信

第4号 2015年1月発行

踏みだそう 新たな半世紀

学校長 重松 秀一



2015年が始まりました。今年には理学療法士にとって意味深い年であります。50年前東京に日本で初めての理学療法士養成校が誕生し、その後各地に設けられ着実に成長を遂げてきました。日本理学療法士協会は本年6月に創立50周年記念事業を計画しています。昨年11月に行われた板場英行先生の御講演にありましたように、今後理学療法が新たな対応をすべき領域として、

1. 救急救命 2. 高度急性期医療 3. 在宅医療 4. 終末期医療 5. 災害医療 6. 認知症 7. 精神疾患が挙げられています。これらの課題を全うするため従来の伝統的理学療法に加えて、発展的理学療法(伸張運動、筋緊張抑制、機能的自立)、応用的理学療法(徒手理学療法、疼痛抑制治療)さらに、専門的理学療法が成熟、完成されなければなりません。

翻って理学療法士養成校では伝統的理学療法(運動療法、物理療法、日常生活動作・運動)について、十分な知識と実力を持った学生を育てねばなりません。我が信州リハビリテーション専門学校では3年間で国家試験を受けられるよう、1年生で基礎分野(生理学、解剖学など)、2年生では専門分野(臨床医学、評価実習など)、そして3年生では臨床実習(実習施設で700時間以上の理学療法のプロセスを学ぶ)に主力が置かれています。

20歳そこそこで社会人となるため、在学中に社会常識、そして「接遇」についても色々な指導を受けます。こうして医療施設に就職したあと、現場での経験を積んで、より専門性に富んだ領域での活動ができるよう、卒後教育のプログラムも用意されているのです。

さあ、学生の皆さん、よりよき理学療法士を目指して、一步一步頑張りましょう。

松本城のお堀が霧で覆われ、緑の松樹が冬景色を引き締めています。



重松 秀一 画

平成26年度学校自己評価結果について

副学校長 村松 秀明



新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。

本校が贅川の地に開校し、4月から8年目を迎えようとしています。本校の目標は知識と技術を習得し、3年間で医療現場や地域で即戦力として活躍できる理学療法士を育成することです。また、勉強だけでなく、自ら考え取り組む姿勢を持ち、優しく人の支えとなる人材の育成もその一つです。その為には、教育活動や学校運営を確認することが必要です。

今年度も「学校自己評価」を実施しました。これは運営や教育現場を確認すると共に、家庭・地域との連携協力を得ながら、開かれた学校を作る事を目的に、教職員自らが行う評価です。併せて「学生による授業アンケート」「学生アンケート」「保護者アンケート」を行いました。結果について概要を報告させていただきます。

学校自己評価は、アンケート11分野50項目を4段階評価(4:良く取り組んでいる～1:全く取り組めていない)で行いました。分野ごとの状況は以下の通りです。

| 分 野 | 評価値 | 分 野 | 評価値 |
|-----------------|------------|------------------|------------|
| 1 教育理念・目標・育成人材等 | 3.21(3.05) | 7 学生募集と受け入れ | 3.63(3.61) |
| 2 学校運営 | 3.18(2.94) | 8 財務 | 3.31(3.39) |
| 3 教育活動 | 3.44(3.14) | 9 法令等の遵守 | 3.45(3.60) |
| 4 教育成果 | 2.79(2.76) | 10 社会貢献 | 3.13(3.43) |
| 5 学生支援 | 2.80(2.88) | 11 意見要望の把握及びその活用 | 2.97(2.82) |
| 6 教育環境 | 3.29(3.62) | 全体平均評価 | 3.20(3.20) |

()内はH25年度

全体平均では3.20(昨年度3.20)となりました。また、どの分野においても概ね良好な結果を得ることができました。低値の詳細では「4教育成果」は、退学者がいる事と、卒業生・在校生の社会的活躍・評価の把握不足が低い値の原因といえます。また「5学生支援」では、学生の生活環境支援に関し低い値となっています。学生寮が無い事も要因といえます。「11意見要望の把握及びその活用」では、第三者からの意見を伺う体制と、学生の意見・要望を学校運営に反映させる体制整備に関し低い値となっています。

自己評価の参考のため実施した各アンケートで満足度(よくあてはまる、まあまああてはまる)では、学生による授業アンケート94.9%(昨年度89.2%)、学生アンケート86.9%(昨年度86.3%)、保護者アンケート94.6%(昨年度86.9%)との結果を得ました。いずれも昨年度を上回っており良好な状況でした。

学生による授業アンケートの結果は、高い数値を得ることができましたが、各科目のリンクを図るためにカリキュラムの再考も課題と考えます。保護者アンケートでは、情報配信システムの導入により、情報量が多くなったことが高評価を得ています。

今回の結果を分析し、良い所は更に向上させ課題に対しては改善・解決に向け、教職員が一丸となり取り組んでまいります。そして本校の発展につながるよう努めてまいりますので、皆様の一層のご理解とご支援をお願い致します。

本年が皆様にとって、良い年となりますようご祈念申し上げます。



板場英行先生 特別講演会

平成26年11月13日塩尻市市民交流センターえんぱーくにて、日本理学療法士協会理事の板場英行先生に特別講演を賜りました。

「日本の理学療法の歩みと今後の展望」をテーマに、現在までの日本における理学療法の歩み、理学療法士協会はどのような考えで今後を進めて行くのか、等のお話がありました。また、先生の専門である徒手療法の実技を交えた講演に学生はもちろん、教職員も触発されました。「出会いと交流が学問のスタート」というお言葉が特に印象に残りました。



玄蕃まつり



今回は総勢56人で挑んだ玄蕃まつり。連長である小野先生の指導の下、昼休みに練習をし、当日の決起集会でも気合いを入れて臨みました。残念ながら賞を貰うことは出来ませんでしたが、他の連との交流もあり、信州リハのパワー全開で楽しく踊りきることが出来ました。



夏の陣

信りイベント「信りハ夏の陣!!」が8月1日(金)に開催されました。全学年及び教職員も混合でグループを作り、日常の勉強から離れ息抜きも兼ねながら、学生同士の距離を縮める目的で実施しました。



当日は天気にも恵まれ、プール清掃班ではプールをピカピカに磨き、カレー作り班ではグループごとに考えた具材を用いてカレーを作りました。最後に全員でおいしくカレーをいただき、楽しいひと時となりました☆

3年生保護者懇談会

平成26年11月21日(金)14:00より教室棟で、3年生保護者懇談会を行いました。ご多忙中にも関わらず14名の保護者の皆様にご出席いただきました。

臨床実習を終え、就職活動や国家試験に向けて、毎日グループ学習に取り組んでいる3年生の様子について報告させていただきました。また、個別面談では質問にお答えしたり、情報交換をすることができました。皆様からのご意見を是非、今後の学校教育に活用したいと思います。

卒業を間近に迎えて

自然豊かなこの学校での学びは、勉強は勿論、地域との交流を大事にしながら、人との関係づくり・繋がり大切さを経験できる素敵な学校でした。娘は楽しい事も多くあった中で、様々な壁にぶつかりながら、悩み・回り道をしながらも、ようやくここまで辿り着きました。今日まで理学療法士を目指すことを諦めずに来られたのは、先生方の温かい見守りがあったおかげと、心から感謝しています。学んだ専門知識・技術、共助の心、そして人としての当たり前前の行動…全てをこれからの現場で活かし、少しでも誰かの役に立てるように努力し続ける事が、ご指導頂いた先生方への恩返しに繋がると思っています。今は、無事に皆が国家試験に合格し、社会へ一歩踏み出し、前進できる事を願うばかりです。

3年生保護者
吉田輝子様より

夢に向かってラストサポート ～国家試験スケジュール～

記念すべき第50回理学療法士国家試験が間近に迫ってきました。

3年生は同じ目標に向かい、互いに支え合いながら、猛勉強中です。

国家試験日：平成27年3月 1日(日)：筆記試験

* 前日よりバスで東京へ向かいホテルに1泊し、当日を迎えます。

合格発表：平成27年3月30日(月)



檜翔祭



平成26年11月1日、第7回檜翔祭（ひしょうさい）が開催されました。約3ヵ月前より檜翔祭に向けて、イベント委員や学生会が中心となり作り上げていきます。授業がある中での準備は大変だったと思いますが、贅川を盛り上げよう！檜翔祭を成功させよう！と企画する学生たちの姿はとても頼もしいものでした。

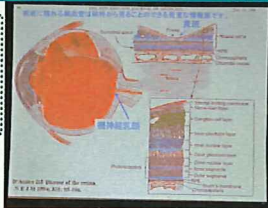
当日はあいにくの雨模様となりましたが、地域の方から頂いた野菜や肉で信リハ特製豚汁を作り無料提供しました。体育館では学校長の講演会・檜川音楽祭が開催され、たくさんの方で賑わう一日となりました。



学校長講演会

「糖尿病と腎臓」

「糖尿病」は太い動脈から毛細血管に及ぶ、血管が固くなり内腔が詰まる病気です。そのため放っておくと心筋梗塞、足先の壊死、神経障害、網膜症、腎硬化症が起こります。



「高血糖」「高HbA1c」「高脂血症」が原因ですので、これらを早く見つけて対応することが病気の進行を抑えることとなります。



学生会執行部より

今回で第7回となる檜翔祭も、先生方、学生の皆さん、地域の皆さんの協力でなんとか終了することができました。

私たち執行部は、ご来場いただいた皆さんはもちろん、全校の皆さんも楽しめるようないろいろな新しい企画を考えました。「楽しかった!」と思っていただけたなら幸いです。

檜翔祭を通して、周りで支えてくれる人の大切さを感じました。感謝することを忘れず今後も頑張っていきたいと思えます。



今後の予定

- 3月 1日 第50回理学療法士国家試験
- 3月11日 3年生を送る会
- 3月13日 平成26年度卒業式
- 3月15日 講師会

学校説明会

3月21日(土)

受付：9：45～
開始：10：00～

*塩尻駅より送迎あり。
(要予約)
*申し込みは本校まで
お待ちしております。

編集後記

第4号「信リハ通信」はいかがでしたでしょうか。大自然に囲まれたこの贅川の地で、四季を感じながら日々、学生、教職員共に夢に向かって頑張っております。そんな学校の様子が少しでも皆様にお届けできましたら幸いです。お読み頂いた感想、ご意見等ありましたら、ぜひお聞かせ下さい。今年も信州リハビリテーション専門学校を宜しく願い申し上げます。

関連法人

医療法人社団 **敬仁会**

社会福祉法人 **平成会**



介護老人保健施設 掬水

姉妹校



学校法人 松樹学園

信州介護福祉専門学校

信州リハビリテーション専門学校

〒399-6301 長野県塩尻市贅川1215-2

TEL：0264-34-1023 FAX：0264-34-3371

<http://www.shinshu-reha.ac.jp>

信州リハ |

検索

